

第2学年 生活科 学習指導案

大牟田市立中友小学校 教諭 庄山 優香

1 単元名 「十日市のステキ発見隊」として十日市の素敵なお店を見つけよう

2 単元の目標

- 町探検を通して、十日市にはそれぞれの思いがあって、十日市に来ていることに気づき、それらは自分たちとの生活と深く関わっていることに気付くことができる。 (知識及び技能)
- 十日市探検で見つけたことや町の人の思い、自分たちが町のためにできることを考え、自分なりの方法で工夫して表現することができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- 町の人と関わる活動を通して、自分たちの住む町に関心を持ち、意欲的に町の人と関わったり、探検して見つけたことをまとめたりすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

十日市探検で、人々、社会、などに関心を持ち、調べたり、体験したり、関わったりする活動を通して、町のよさやそこに住む人々の温かさに気づき、新たな親しみや愛着をもつことができるようになることをねらいとしている。本単元では、校区内の町探検に出掛けて、春の町探検で気付いたことや物が、秋になってどのように変化したかを視点に、観察やインタビューを通して自分たちが住む町のよさの実感を得られる。また、春と秋の二回のインタビュー活動を通して、地域の人との関わりを深め、人と触れ合う楽しさや喜びを得られる学習である。

(2) 児童観

本学級の児童は、1年生では昔遊びを地域の方々に教えてもらう学習、2年生では、中友小学校校区に探検に出かけ、町のいいところを見つける学習を行っている。児童たちの多くは生活科が好きで、町探検を楽しみにしている。しかし、地域の様々な場所や公共物、地域の人々までには関心がうすく、地域の人との関わりが多くない児童もいることがわかる。そこで、町探検という活動を通して、働いている人々や地域のお店について考えることで、自分達の生活は様々な人や場所と関わっていることに気づき、地域の人々や場所に親しみや愛着をもつことができるようにしたい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、中友小学校校区にある銀座商店街で行われている十日市の写真を提示する。このことを通して、お店の数やお客さんの数の減少が進んでいること、地域に住んでいる自分たちもあまり十日市について知らないことに気付かせる。そして、今後の銀座商店街や十日市の姿について具体的に話し合わせることを通して、まちづくりについての課題をつかませたい。また、校区内にある商店街ということでもいつでも行ける自分たちの店として、意欲をもたせたい。

次に普段の銀座商店街と十日市、両方に探検に行き、十日市でのお店の人の思いやお客さんの思いをつかませる。また、地域の人との触れ合いの中で優しくしてもらった経験や楽しかったという思いから、自分たちが校区内になる銀座商店街のために力になりたいという思いをもたせたい。これらの

活動を踏まえ、「十日市のステキ発見隊」として見つけたステキをまとめていく。

さらには、地域の人々の色々な思いに触れて、その思いを他の人に伝えていくことの大切さに気付くことができるように、活動する前の自分自身との変容にも着目させるようにし、成長した自分自身を振り返ることができるようにする。

(4) ESD との関連

・ 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

多様性…大牟田市の中友小学校校区では数多くのお店があり、季節によって売られている商品が違ふ。商店街の人やお客さんの「十日市」に対する思いを知ることができる。

相互性…需要と供給の関係で売買が成立しているが、季節によって買い手が求めている物が違ふということを探検やインタビューなどで具体的に捉える。また、十日市に関わる人々の思いと自分達の思いがつながり、関わりを深めたいと思うことができる。

連携性…これからの町は、地域の高齢者の方たちだけで昔からのお店を続けていくのではなく、地域全体でよりよい町にしていくことが大切であること。また、色々な人の思いから、自分たちにできることを考えていくことができる。

・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）

買い手と売り手の両方の面から、人々の生活にお互いがどのように関わっているのかを考え、どのように関わればよりよくなるか社会の在り方や自己の生き方を考えなおすことができる。

進んで参加する態度

地域のお店のために今の自分たちに何ができるかを考え、積極的にお店の人にインタビューをしたり、それをまとめたりすることができる。

コミュニケーションを行う力

地域のお店の様子を詳しく知り自分たちにできることを考えるために、意見交流を通して自分の考えや友たちの考えをつくりあげる。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正

自分たちだけでなく、高齢者や若い子どもなど、誰もが楽しく同じ時間を過ごすことができる町作りが大切である。

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

自分たちの世代だけでなく、地域の方全ての人々が、幸福であることが大切である。

・ たち成が期待される SDGs

1 1 住み続けられるまちづくりを

1 2 つくる責任つかう責任

4 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<p>①町探検を通して、町には様々な自然や施設があり、様々な人々が働いている事に気付き、それらは自分たちの生活と深く関わっていることに気付いている。</p> <p>②町探検を通して、調べたことで得た知識を、友たちとの考えと合わせながらまとめることができる技能を身に付けている。</p>	<p>①1学期の町探検を振り返り、課題を見だし、自分たちの町のお店のためにできることを考えることができる。</p> <p>②探検で見つけたことやインタビューをして分かったことを、まとめることができている。</p>	<p>①自分たちの住んでいる町や働いている人に関心を向け、意欲的に町の人と関わろうとしている。</p> <p>②探検して気付いたことや、自分で地域のお店のためにできることを見つけ、発表しようとしている。</p>

5 単元の指導計画（全32時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 中友小学校校区の銀座商店街で行われている十日市の写真をもとに、課題と今後の活動の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔はたくさんお店があった。 ・お客さんの数がとても多いね。 ・十日市が将来なくならない為に今の自分たちには何ができるかな。 	<p>○ 十日市の昔と今の写真を提示し、お店の数やお客さんの数に着目させ、課題を明確にさせるとともに、今の自分たちはあまり十日市のことを知らないと実感させ、「十日市のステキ発見隊」として十日市の素敵を伝えていくというねらいをつかませる。</p>	<p>イ① (思判表)</p>
<p>2 普段の銀座商店街の様子について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方が多く利用している。 <p>3 十日市の様子について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもより少しだけお客さんの数が多いね ・お年寄りの方のお喋りする場になっているね。 <p>4 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しく地域の方が話しかけてくれて嬉しかった。 ・もっと色々な人来てもらうために、自分たちにできることがあるのかな。 	<p>○ 十日市の様子をより詳しく知るために、十日市が行われていない日の銀座商店街へ行き、活動の意義をつかませる。</p> <p>○ 地域の実態をつかませるために、気になったことを地域の人にインタビューをするように提案をする。</p> <p>○今後の活動へと連続発展させていかなせるために、交流を通して得た思いを想起させる。</p>	<p>ウ① (主体的)</p> <p>ウ① (主体的)</p> <p>ウ② (主体的)</p>

<p>5 十日市について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が昔より十日市に行かなくなった理由が分かったね。 ・お店の人たちはもっと来てほしいという思いがあったことも分かったね。 ・自分たちにできることは何かな。 	<p>○地域のお店の人たちの思いについてまとめた物を提示し、自分たちでできることはないかと考えさせるようにする。</p>	<p>イ① (思判表) ウ② (主体的)</p>
<p>6 「お店に来てくれてありがとうプレゼント」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十日市や銀座商店街へ来てくれた人たちにありがとうの気持ちを込めてプレゼントをしよう。 ・買い物にきてよかったなと思えるような物にしたいね。 	<p>○相手意識をもたせるために、探検の際に学んだ人々の思いを思い出し、自分たちの町には素敵なお店がたくさんあることを伝えられるように意識をもたせるようにする。</p>	<p>ア①② (知・技) イ② (思判表)</p>
<p>7 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからもずっと十日市が続いて、元気な町でいてくれたら嬉しいな。 	<p>○地域の人々の色々な思いに触れて、その思いを他の人に伝えていくことの大切さに気付くことができるように、活動する前の自分自身との変容にも着目させるようにする。</p>	